

岐阜赤十字病院を受診された患者さまへ

研究情報の公開について (オプトアウト)

通常、臨床研究を実施する際には、文書もしくは口頭で説明し同意をいただくこととなっています。臨床研究のうち、患者さまへの侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いる研究等については、国が定めた指針に基づき対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得る必要はありませんが、研究の目的を含めて、研究の実施についての情報を公開し、さらに拒否の機会を保障することが必要です。このような手法を「オプトアウト」といいます。オプトアウトを用いた臨床研究は下記のとおりです。なお、研究への協力を希望されない場合は、下記文書内に記載されている担当者までお知らせください。

研究課題名	酸素投与を必要としたCOVID-19患者のearly mobilizationによる身体的変化と回復の特徴(多施設共同研究)
当院の研究責任者(所属)	吉田智哉(リハビリテーション科 理学療法士)
他の研究機関および各施設の研究責任者	福田吉辰(朝日大学病院 リハビリテーション部 理学療法士) 服部良(岐阜大学附属病院 リハビリテーション部 理学療法士)
本研究の目的	COVID-19重症患者における、理学療法介入効果の検討(多施設共同研究)
調査データ該当期間	2020年4月1日 から 2021年11月1日まで
研究の方法(使用する資料等)	対象となる可能性の患者様 上記の期間中にCOVID-19専用病棟(他施設表記は変更になる)に入院され酸素投与を要した患者 利用する情報 カルテ情報から年齢、性別、BMIや基礎疾患、採血情報や理学療法開始日や転帰、治療・介入期間・時間、日常生活自立度(FIM)、ワクチン接種の有無など。測定項目は理学療法内容や等を確認する。
試料/情報の他の機関への提供	病院外への持ち出しはいたしません
個人情報の取扱い	得られた情報はすべて匿名として扱わせていただきます。年齢・性別の公開は可能性としてありますが、個人に不利益や危険性が及ぶことはございません。
本研究の資金源(利益相反)	利益相反無し
お問い合わせ先	研究代表者 リハビリテーション科 理学療法士 吉田智哉 (PHS:5240)
備考	